

「百済文化祭」

キムシンヒョン
太宰府市国際交流員 金辛滋

みなさん、今年7月号のコラムで紹介した「扶餘ソドン蓮の花まつり」を覚えて
いますか?太宰府市の姉妹都市、扶餘には代表的な2つの祭りがあります。その
中の一つがこの前、紹介した「扶餘ソドン蓮の花まつり」で、もう一つが今回紹介
する「百済文化祭」です。

百済文化祭は、扶餘に百済王朝の都「泗泚」がおかれていたことから、1955年
から開催されている歴史再現型の祭りです。この百済文化祭は、なんと韓国の3
大祭りの一つでもあります。そして本年、第68回百済文化祭が「韓流援助、百済
の光と香り」というテーマで10月1日~10日まで開催されます。

百済文化祭は、扶餘の子三洞(グドレ)という地域を中心に開催され、約27のプ
ログラムを楽しむことができます。

旧都から泗泚に遷都する姿を再現した「百済泗泚遷都フェスタ」、人間将棋の
ような百済版囲碁盤を舞台に、百済時代の戦闘姿で行われる「百済の戦闘」「百
済文化パレード」などのプログラムがあり、当時の百済の雰囲気を楽しんで楽し
むことができます。

この他にも、日本書紀で日本に伎楽^{ぎがく}を伝えたと記録される百済の芸術家・味
摩^{みま}の仮面作り、百済時代の衣装体験、百済土器作り体験など、見るだけでなく
体験できるプログラムも多数用意されています。

このように現代の扶餘と過去の扶餘を同時に楽しめる異色の祭り「百済文化
祭」。みなさんも扶餘を訪れる際
はぜひ参加してみてください。



※日本最古の渡来芸、滑稽みのある
無言仮面劇

人権標語

咲かせよう
一人一人が
輝く花

太宰府南小6年 (応募時) 樋口 芽依さん



かわさき じゅんこ
川崎 純子 (太宰府市高雄区) 池坊
花材 黒染からたち、らん、沖縄しやが
やなぎ、ミニアンズ、風草

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

便利さに慣れたる一つケータイに
トラフル起こりて孤立無援に
通古賀 詫摩 典子
振り返り眼すぐれて輝ける
大友皇子ぞ馬上の人は
福岡市 竹森 祐彦

百合の花つよく香りて賛美歌に
つまれし遺影美しく笑む
糟屋郡 仲道 朋子

ドア開けて空一面の青眩し
光浴びつつ坂道下る
東ヶ丘 西木 ミヤ子

栗の木にはた柵にと往き来する
昼寝の場所の定まらぬ蝉
大佐野台 宮崎 フミ

太宰府俳句会

持永 真理子 選
荒天の近づく予報聞く厄日
星ヶ丘 柴田 慧美子

試歩の杖萩見る母に肩を貸し
馬場 有岡 和砂

白萩や尼僧仕へし古利とか
東観世 中島 祝乃

はらはらと庭を狭しとこぼれ萩
連歌屋 吉嗣 のり子

虫の音が悲しみ誘ふ日暮れかな
福岡市 元村 住雄

飛梅句会

介弘 紀子 選
今日一日命を燃やす芙蓉かな
馬場 野上 コト子

薄日にもはや酔ひ初めし芙蓉かな
観世音寺 野田 杉子

悠々と銀河背伸びをしてをりぬ
筑紫野市 羽野 喜久代

好奇心なほ失せずして見る銀河
青葉台 平野 香

悠久の光届けて銀河濃し
青葉台 本山 晴子

宝満句会

菅井 久美子 選
一湾を囲む漁火星流る
福岡市 工藤 友子

初秋や吹く風やはら一息す
大野城市 福岡 とみ子

遠き日のバンコに仰ぐ流れ星
星ヶ丘 江里口 幸生

秋初め一枚羽織り朝廚
東ヶ丘 竹家 京子

初秋や観世音寺の風の声
筑紫野市 名本 剛

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選
母の物かたづけ始む初盆会
福岡市 宮津 英里子

水琴の余韻長きや夏の果
青葉台 彦坂 正幸

夏蛙無数に跳ねるたんぼ道
筑紫野市 寺田 恵子

夏果てやちぎつたやふな雲あまた
福岡市 北川 朴洋子

マッチ箱のやうな人生夏暑し
福岡市 塩飽 たか子

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選
食材に深まる秋の足音が
春日市 大塚 茂

ストレスを歌に組み込むフォルティモ
都府楼 杉 良子

もしかして気があるのかとうわの空
大野城市 高原 正和

きつぱりと言わぬ男に見た打算
国分 岸本 しずえ

夢でいいランチしたいな天の友
観世音寺 河原 明子